



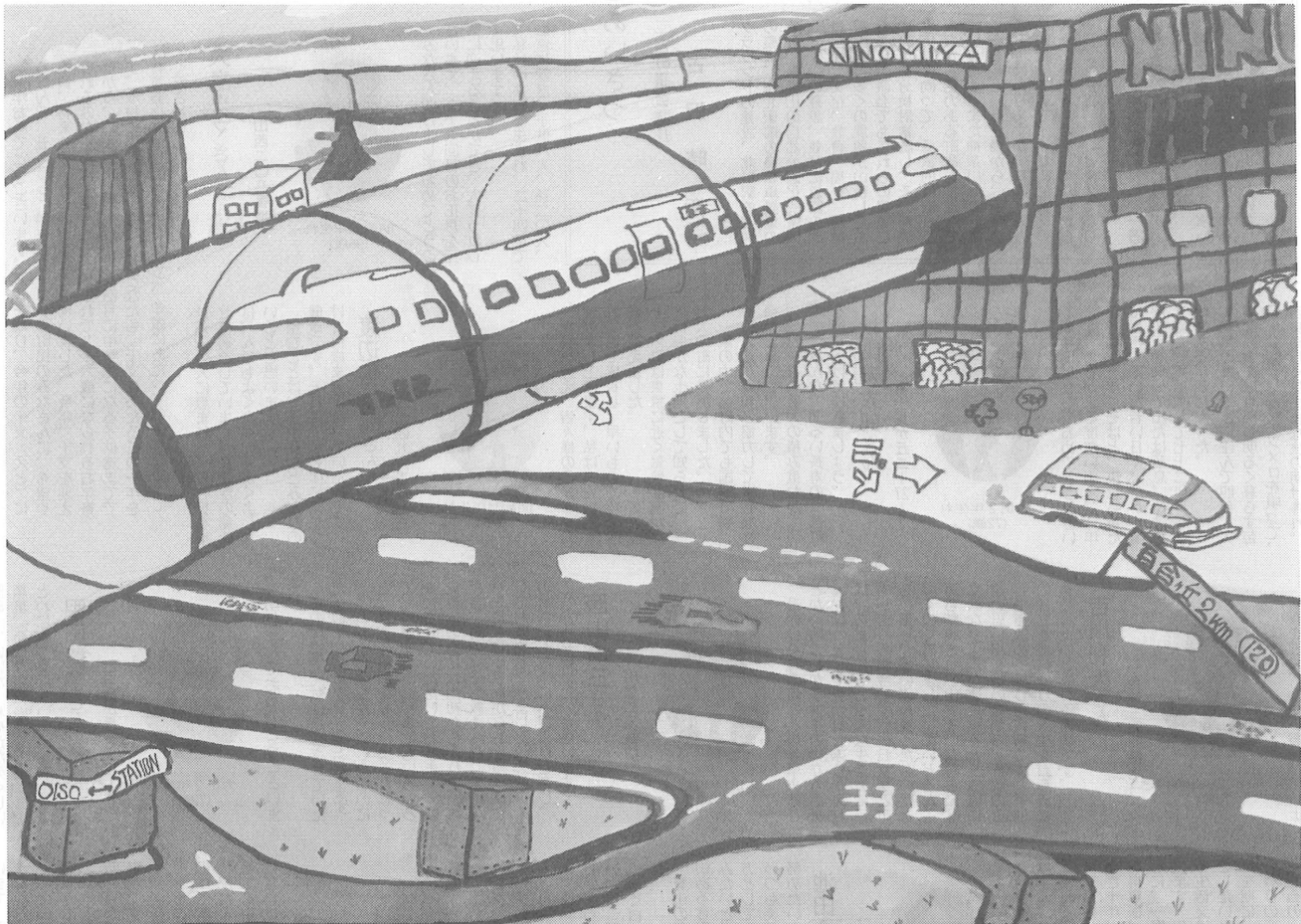
広報 にのみや

第265号 発行日 昭和60年1月1日

編集 二宮町広報編集委員会
発行 二宮町企画課 二宮961番地 電話71-3311

二宮町民憲章

1. 郷土を愛し、自然をいかすきれいな二宮町をつくりましょう。
1. ふれあいを深め、ことばをかけあうさわやかな二宮町をつくりましょう。
1. きまりを守り、良習をはぐむ住みよい二宮町をつくりましょう。
1. 幸せを願い、健やかな、明るい二宮町をつくりましょう。
1. 教養を高め、文化のかおる豊かな二宮町をつくりましょう。



未来の二宮町 (21世紀に向かってスタート)

一色小学校6年1組、寺内昌くんの作品

迎春



二宮町長

柳川 賢二

新年、明けましておめでとうございます。
夢と希望に満ちた新春を、ご家族おそろいで迎えられたこと
お慶び申し上げます。

町政を取りまく環境は、日々厳しさを益す折、昨年はみなさん方
の暖かいご支援をいただき、また各関係機関のご指導により、吾妻
山自然公園整備事業、二宮中学校特別棟改築、(仮称)二宮町立体育
館建設、富士見が丘一六礫石神台トンネル工事、町道三十一号線改
良工事、特にみなさん方一人ひとりの福祉へのご理解を得て、充足を
以て法人化された町社協の充実、その他大小さまざまな諸事業を実
施できましたこと、厚くお礼申し上げます。

国内外の経済情勢は、輸出環境の悪化、物価沈静化による名目成
長率の鈍化などにより税収不振の背景等が予想され、国の地方自治
体への補助金削減も一層厳しさを益すことと想われます。

このような状況下で、本年も「健康で安らぎのある町づくり」を
めざし、決意を新たに町政に取り組んでまいりたいと考えておりま
す。

さて本年は、昭和十年十一月三日町制施行より五十周年に当り、
私はこの記念すべき年を単に歴史の節目として迎えるのではなく、
幾多の苦境を乗り越え、輝かしい伝統をつくり上げた先輩諸兄の実
績を受け継ぎ、新たな可能性に挑戦する年にしたいと考えておりま
す。

「ふれあいの里二宮50」を五十周年記念テーマに、諸々の事業を
展開し、公共施設整備は二宮町保健センター建設を始め、例年通り
緊急性を考慮し、随時計画的に推進いたします。

快適な環境は、単に安全で利便であるといった物理的な面だけで
なく、心の安らぎや潤いといった精神面での充足が必要であり、み
どり豊かな「長寿の里」二宮を、みなさん方と共に創造して行きた
いと思います。

最後に、みなさん方の幸多き年となりますことを心からお祈りし
て、年頭のごあいさつにかえさせていただきます。

丑(うし)年生れ 新春の抱負を語る

新年おめでとうございます。新春を飾り、今年の干支(え)にちなんで、丑(うし)年生れの十二名の町民のみなさんに、希望や抱負、将来の夢、町への要望などを伺いました。今年、千支を迎えられるみなさんは、明治二十二年生れで九十六歳になられるお年寄りから、昭和四十八年生れで今春四月に中学生になる子供達までです。取材に際しては、みなさんどなたも、千支にあたるこの一年を有意義に充実したものにと、年頭にあらたな決意を語ってくださりました。

健康ついでいいな。和やかな美しい環境、綺麗な空気の長寿の里二宮を大切にしたい。

甲田豊子さん
百合が丘三二五番地
大正2年生れ(72歳)

大島ツマさん
山西二〇八番地



明治22年生れ(96歳)

みなさん明けましておめでとございます。九十六回目のお正月を元気に迎えることができ、大変うれしく思います。

私は中井町で生まれ、二十四歳で二宮に嫁ぎ、子供八人、孫二〇人、



明治34年生れ(84歳)

ひ孫三人に恵まれ、一日一日を幸せに過ごしています。長生きの秘訣は何んでもよく食べ、よくよくしなうことだと思います。

望むことは、子孫などみんなの健康です。それに、私も体に気をつけて百歳までは元気でいたいのです。

渡辺善太郎さん
二宮四九六番地 三

ごあいさつ



二宮町議会議長
古沢時衛

天地一新、明けましておめでとございます。昭和六十一年の輝かしい新春をすべての町民の皆様とともに心からお慶び申し上げます。私は昨年十月に開会された昭和五十九年第四回定例会において、再び議会議長の要職に選任されました。

今、新しい年を迎え、改めてその責任の重大さを痛感し、新たな決意と進取の気概をもとに町民の皆様への信頼と期待にこたえてまいりたいと存じます。

さて、町制五十周年を目前にした我が二宮町は、本年、歴史的にも一つの転機を迎えることとしております。私はこれから新しく歩みはじめる二十一世紀への道にあり、一宮町が転機期に立つていくことを自覚し、たしかなる困難に立ち向い、未来への展望と新しい歴史を切り拓くために全力を尽くしてまいりたいと思っております。

現在、町には社会体育館、総合



大正2年生れ(72歳)

新春を迎え、皆様のご多幸をお慶び申し上げます。私は二宮に生まれ二宮で成長し、早いもので八十四歳を迎えました。

二宮町は東京に近く気候は温和な人情豊かな土地として知られて、三万人の町に発展しました。一家の中でも町内でも国家でも、その人達が親和し協力して幸せな社会が出来ると思っています。

一日一日の努力の積み重ねが大切で、みなで明るい新春の二宮町を造り上げてゆきましょう。

秋山宏太郎さん
富士見が丘二二七番地 二

新春を迎え、心からお慶び申し上げます。今年こそは、今年こそは、決意も新たに動き又働いた日。体が、鳴り、天を仰いで出たは湯。だが、たがた。馬蹄重ねて七十年。もう隠居する年齢になった。

空気のよい二宮に住んで四年、大切な健康を取り戻し、暮らす毎日大声張り上げナツメロを唄って、西東染し、気ままな旅の明け暮れ。

吉川利夫さん
一色二三四番地 一



大正14年生れ(60歳)

過ぎ行く時の何となく早まること。いつしか子供達の巣立ちも終え、ぼとして我が身をふりかえれば、あまりにもお粗末な生き方に反省しきりの昨今です。先女房と町を散策し、すいぶん変わったものだとつくづく感じました。細いどころは道も舗装され、山すその草むらには立派なツルが這い上り、言つて風に遠い思い出を抱いながら、行政の苦勞を改めて感じた次第です。子供の独立を機に残りの人生を有意義に過ごしたいと思うこの頃です。



昭和12年生れ(48歳)

新春のお慶びを申し上げます。雪深い新潟が冬もあたたか、みどり豊かな二宮町に嫁いで十四年。四回目の五年を三十三人元気でむかえられることは、このうえもない喜びです。息子が精神的によろしく自立する年となりましうた。

林 豊子さん
中里五一八番地



昭和24年生れ(36歳)

新春を迎え、心からお慶び申し上げます。今年、生れ育った二宮町で三度目の千支を迎えることができて嬉しく思います。嫁業を受け継ぎ十年、まだまだ未熟者ですが、お得意様、住民の皆様のご指導のもとに、一年こそつとめて幸せに暮らしてをしたいと思います。父親として今年を期に、娘一人が人に好まれる思いやりの心を教育して行き、私自身も社会の一員として頑張ります。



昭和36年生れ(24歳)

新年あけましておめでとございます。私がこの二宮に嫁いできて、もう四年たつてしまいました。この四年間は、私にとって非常に目覚ましいものでした。二人の女の子を続けて出産し、育児に追われながらもこの町になじむことができたことは、主人はもとより主人の両親と祖母のお陰だと思っています。

この一年も二人の子供をはじめて家族みんなが無事に過せるようにと思っています。

清水恵美さん
山西二二一番地



昭和48年生れ(12歳)

ほくは、昨身体操大会で千葉県まで行き、床で九位になりました。四年生から二年間体操をやってきましたが、その中ではランフなど苦しいときがありました。また、中学生になってもう一つとある、たい。今年、ほくの年うし年だから、二月の大会には良い成績が取れるようにがんばりたい。中学生になったら、大会も多くなし勉強もたいへんになるけれど、いっしょうけんめいやると思います。



昭和48年生れ(12歳)

私のほあい、いって得意なことがなく、いつも中途半端で終わってしまつて、得意なことが見つからない。今年の目標にしたいと思っています。また、根気がないこともおしひたいです。

今年から中学校。目標めざしてがんばりたいと思います。

熊谷裕子さん
一色小学校六年



昭和48年生れ(12歳)

卒業までの時間は、中学でできることを、後悔のないように、いっしょうけんめいやっていきたいと思ひます。

ほくは、中学、高校、大学で英語と数学をよく勉強して、将来、アメリカへ行って、夢をかなえたいと思ひます。



富士見が丘、藤森さんの作品

ふれあいの里二宮50

本年十一月三日に町制五十周年を迎えます。昨年の九月号の広報にのみやで、町民のみなさんから五十周年記念事業についてのご意見を聞き、記念テーマが決まりました。

皆さん、あけましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年決定いたしました臨時教育審議会は、今年になってどのように進展しているのでしょうか。中央教育審議会が文部大臣の諮問によって行われていたのに対し、今回の臨時教育審議会は総理大臣の発意により、臨時教育設置法公布のもとに、九月五日第一回総会を開催して発足したのです。既に九回もの総会

が続き、審議経過の概要も公表されました。その状況をみましても、大変効果的に、しかもスピーディーです。決定にあたって諮問の理由、首相・文相の述べられたあいさつの要点を拾って要約してみます。大体の趣意になります。

臨時教育審議会に

期待するもの

二宮町教育長 二見 長平

我が国の教育は、戦後著しく普及し発達してきたが、近年における社会の急激な変化や教育の量的拡大等は、教育の在り方にも大きな影響を与え、いろいろな問題が指摘されるに至って来ている。またそれに加えて産業構造の変化、情報化社会の進展、更に生涯学習への期待なども寄せられている。そうした情勢にあつて、時代に即応した教育の実現が求められている。教育改革を行って、我が国の伝統的な文化の見直しをしながらこれを維持発展させ、国際社会に

貢献する国民の育成をはかってくるべき。

なお、この改革は大変幅も広く大がかりなものゆえに、政府全体の責任において、長期的展望にたつて取り組んでいきたいと思います。審議会は二十五名の委員が任命され、四つの部会と別に運営委員会を構成し、それぞれが審議事項のもとに審議を進められるようになっていきます。

第一部会 二十一世紀を展望した教育の在り方
第二部会 社会的教育諸機能の活性化
第三部会 初等中等教育の改革
第四部会 高等教育の改革
これだけだとまだ何を審議するかはつきりいたしません。例えば第三部会では、審議事項の下に、初等中等教育の意義と教育内容方法の基本的な在り方、初等中等教育制度（多様化・弾力化・幼保問題・就学年齢など分野的教育）というような検討課題を設けて議論が進められるようです。

さて、この教育改革の問題は、私も生きてきている限り常に身にかかってくるもので、平素から広報や新聞、テレビ等の情報に目を向けて研究することが大切であると思います。臨時教育審議会では可能な限り多数の委員の出席を得て議論を重ね、推進いたします。



個性が尊重され自由も認められた戦後の日本は、喜ばしくはなりましたが、反面、権利義務の風潮が強くなり、価値観の多様化と相まって道義は全くとってしまいがつていくので、これは戦後教育の大きな反省点であると思います。一度落ち込んだ道義を再び元へ戻すのは大変な努力です。首相が「我が国の伝統的な文化の維持発展を」と打ち出した真意は、我が国の古典や固有の文化の高い価値を求めながら、お互いに力を合わせて、今の私たちの心を焼き直そうと呼びかけておられるのです。

せめて今の青少年たち、いや幼児やこれから出生する子どもたちに正しく感じつけ、この日本の文化にたふりと融けさせ、立派に育てあげたいものです。今、外国では日本ブームであるときです。私たちが捨ててしまわないようの中からは、彼等は彼等なりに真摯になつて学び取つて、自国の文化を築き上げようとしています。私たちの先人や先輩がやって来た様に。

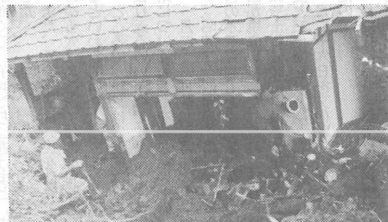
審議会がより改革案を打ち出され、私たちもこれに乗って、明るく力強く前進できる日が、一日も早く来ることを願つてやみません。



体育館建設地（山西）から、古墳時代前期の住居あとを発見。土器散点を発掘



10月7日に開催された第41回体育祭
梅沢地区の応援風景



7月12日未明、二宮・原田地区の
峯岸山周辺で、11か所も土砂崩れ



4月に一部開園した吾妻山公園（花木園地区）



子ども文化祭に、大人顔
まけの作品がいっぱい



防災訓練で実際に吹き出しを
練習する主婦と消防署員

昭和59年 写真でみる 町の動き



6月17日に、クリーン二宮作戦が
行われ、約2.2tのゴミを収集



町内22チームの老人クラブが
参加した、町老人ゲートボール
大会（6月3日）



雨のため一週間延びた
花火大会（8月4日）

